

指定管理者制度導入施設の第三者評価結果					
開 催 日	令和7年10月21日				
公 の 施 設 の 名 称	芦屋市養護老人ホーム和風園				
指定管理者の名称	社会福祉法人 聖徳園				
所 管 課 名	こども福祉部福祉室高齢介護課				
指 定 期 間	令和5年4月1日～令和10年3月31日				
所 在 地	芦屋市朝日ヶ丘町39番20号				
施 設 概 要	養護老人ホーム 構造 RC造 3階建 床面積 1320㎡ 老人福祉法第15条第3項に基づき設置された養護老人ホームで、在宅生活が困難な高齢者の入所及び短期入所を提供する施設				
業 務 概 要	老人福祉法第11条第1項第1号の規定により、65歳以上の者であって環境上の理由及び経済的理由により居宅において養護を受けることが困難な方に入所していただき、日常生活全般にわたる生活指導及び介助を行うとともに、家庭での養護が短期間困難な高齢者の日常生活の世話をを行う。				
収 支 の 状 況	事 業 計 画 上 の 金 額	実 績 額			
R 5 年 度 収 入	87,219,000 円	86,792,480 円			
R 5 年 度 支 出	87,219,000 円	90,358,744 円			
R 5 年 度 収 支	0 円	-3,566,264 円			
R 6 年 度 収 入	86,220,000 円	88,299,382 円			
R 6 年 度 支 出	95,999,000 円	94,944,925 円			
R 6 年 度 収 支	-9,779,000 円	-6,645,543 円			
選 定 ・ 評 価 委 員	委員構成	氏名	所属・役職		
	1号委員 (学識経験者)	石井 隆之	R S M清和監査法人 神戸事務所 (公認会計士)		
	1号委員 (学識経験者)	和田 聡子	大阪学院大学経済学部 (教授)		
	2号委員 (諮問に係る公の施設に関し専門的知識を有する者)	北川 加津美	芦屋都市管理株式会社 (代表取締役社長)		
	3号委員 (市職員)	柏原 由紀	芦屋市 企画部長		
評 価 対 象 期 間	令和5年4月1日～令和7年3月31日				
評 価 項 目	説 明		点数	得点率	評 価
1 全般的事項			40	93%	B
書類全般	事業計画書、事業報告書、月次報告書等は、市が必要と認める事項が記載され、市が定める期限までに提出されているか	37			
2 適正な施設の管理			200	77%	A
施設保守・運営管理	施設の保守、管理が適正に実施されているか	153			
従業員管理	適正な労働環境が保持されているか				
危機管理	事故・緊急時の体制が十分に整備されているか				
個人情報管理	個人情報の管理が適正であるか				
研修計画	従業員研修が十分に実施されているか				
3 事業収支・指定管理者の財政基盤・内部統制			80	59%	C
事業収支	事業収支は適切に算出され、計画に沿っているか	47			
財政基盤	財政基盤は安定的にサービスを提供できる状態にあるか				
内部統制	業務運営に関する内部統制は有効に機能しているか				
4 サービスの質の維持・向上			80	84%	A
事業計画性、透明性	事業が計画的に、かつ透明性を確保して実施されているか 提案されていた自主事業等に計画通り、取り組んでいるか	67			
サービス向上	サービス向上の取組みがされているか				
住民・利用者の参画	住民または利用者とのパートナーシップを推進しているか				
得点率			76%	A	
利 用 状 況 等	項目名	令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 実績	
	入所者との情報交換会	12 件	12 件	12 件	
	市との連絡会	12 件	12 件	12 件	
	健康体操参加者数	295 人	299 人	234 人	
	栄養改善教室参加者数	47 人	126 人	87 人	
総 合 評 価	評価の理由				
A	職員研修の機会を可能な限り設けており、その情報を職員間で共有できています。また、サービス向上のために入所者への聞き取り等様々な工夫をしており、利用者アンケートでも高い満足度が見られました。しかし、赤字の状況が続いているため、所管課と協議し適正な管理・運営とする必要があります。				
総合評価結果		得点割合			
S	優良	90%以上	目標・計画を大きく上回る。優れた管理運営が行われたもの		
A	良好	75%以上	目標・計画を上回る。良好な管理運営が行われたもの		
B	適正	60%以上	計画に沿ったものである。適正な管理運営が行われたもの		
C	要努力	50%以上	目標・計画を下回る。一部に課題がある管理運営が行われたもの		
D	要改善	50%未満	目標・計画を大きく下回る。課題がある管理運営が行われたもの		

講評及び次期指定に向けての課題等	
指定管理者に対する意見	施設所管課に対する意見
<p>【施設保守・運営管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の修繕について、計画的に実施できるよう、市と十分な連携に努めてください。 <p>【従業員管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要介護認定を受けている入所者の割合が増えているため、適切かつ良質なケアを行うことができる人材の確保と育成に取り組んでください。 <p>【事業収支】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収支改善に向けた努力は見られるものの、大幅な赤字が続いています。 <p>【備品の管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理業務の中で購入した備品について、施設内で見当たらないものがあります。適宜確認を行い、適正な管理を行ってください。 <p>【サービスの向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主事業について、財政状況を踏まえ実施内容や参加費の見直しを行ってください。 	<p>【施設保守・運営管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画的な施設修繕が実施できるよう、指定管理者と十分な連携に努めてください。 <p>【従業員管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービス提供の為適切な人員配置となっているか、都度確認してください。 <p>【事業収支】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経常的に収支が赤字となっているため、市として必要な手立てを検討してください。 <p>【備品の管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理業務の中で購入した備品について、施設内で見当たらないものがあります。適宜確認を行い、適正な管理を行ってください。